

亥野彊氏収集麻田藩関係
文書目録

凡例

1. 資料は、内容に応じて下記の A～Q に分類し、各分類の中で資料の項目・年代順に配列して目録を作成した。
A 支配 B 土地 C 年貢 D 村 E 戸口 F 土木 G 救恤 H 交通 I 水利 J 農業
K 商工業 L 金融 M 家事 N 宗教 O 文化
2. 目録の記載事項は、番号・年代・西暦・月日・表題・差出人作成者・宛先・形態・点数・備考・整理番号である。
記載事項が不明な箇所は「―」、判読できない箇所は■■■と表記した。
3. 番号は分類に従って付した番号、整理番号は資料の一括・配列に従って付した番号である。
4. 年代・日付が全て未詳のものは（年月日未詳）とした。年代で干支のみ表記がある場合は、干支を採録した。
5. 表題は原則として資料の原表題を採録した。内容が類推できるものは仮題を〔 〕と付けて表記した。
6. 差出人・宛名が多数ある場合は各 3 つまで採録し、他は「他〇名」と表記した。
印がある場合は（印）と表記した。
7. 備考には、資料の破損状況、表紙・裏表紙の記載事項、資料の一括情報、使用されている紙の情報など記録すべき事項を採録した。備考に記載の番号は整理番号である。

A 支配

番号	年代	西暦	月日	表題	差出人・作成者	宛先	形態	点数	備考	整理番号
1	(年未詳)	—	正月5日	〔書状〕(酒井空印公手筋によ茶御用の仰せ、御用仰付のとりなしを願ひにつき)	上林権七(花押)	斎藤六郎右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	①-61
2	午	—	3月	〔一札〕(元禄12、13年以降酒造高取調べ令につき)	—	—	一紙	1	紙に裏打ち、前欠	①-59
3	未	—	10月	覚(当年寒造酒は元禄10年の3分の1、新酒醸造禁止等の触につき)	—	—	一紙	1	紙に裏打ち	①-60
4	(年未詳)	—	正月3日	〔書状〕(明日江戸表へ申し上げる御内意が別紙のようでよいか確認につき)	—	—	一紙	1	紙に裏打ち	①-27
5	(年未詳)	—	2月12日	〔書状〕(別紙の通り家老より仰出、仲間へ申し遣わし願ひにつき)	文太夫	源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	②'-35
6	(年未詳)	—	2月18日	〔書状〕(御用食料につき覚差上)	池田屋三郎右衛門	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち、一部欠損あり	①-28
7	(年未詳)	—	6月15日	〔書状〕(岡町へかしまや入りの際の宿舎・かご代の報告、岡町より熊野田へ帰ること)	いつミや喜右衛門	林田源右衛門	一紙	1	厚紙に裏打ち	①-29
8	(年未詳)	—	7月6日	〔書状〕(銀札買戻しの義、跡札お渡し仰付けの儀仰渡しの書付遣わされ受取、庄屋呼出し申し付けにつき)	森本仙右衛門(花押)	林田源右衛門、西川小兵衛	一紙	1	前欠、厚紙に裏打ち	①-37
9	(年未詳)	—	8月2日	〔書状〕(懇情へのお礼、米方役を勤めるにつき)	前川六郎兵衛(花押)	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	①-70
10	(年未詳)	—	9月朔日	〔書状〕(主税様へ参上のことにつき)	左内	源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	②'-45
11	(年未詳)	—	9月6日	〔書状〕(毛見も済み大慶、備中差支えにつき取り紛れ、焼肴を進上につき)	小林政右衛門	林田源右衛門	一紙	2	紙に裏打ち	①-71
12	(年未詳)	—	9月8日	〔書状〕(江戸御用状の到着を報告につき)	佐太夫	源右衛門	一紙	1	厚紙に裏打ち	①-6
13	(年未詳)	—	9月8日	〔書状〕(当御領内御検見首尾よく済む、お礼に惣代木器村庄屋清兵衛参上するので御老中様へとりなし願ひにつき)	三宅倫右衛門(花押)	福井佐左衛門、林田源右衛門、小林政右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	①-7
14	(年未詳)	—	9月20日	〔書状〕(其元領内にこのような品があれば御所司代まで報告願ひにつき)	西川小兵衛、林田源左衛門、同賀右衛門	服部与右衛門、河上善助	一紙	1	紙に裏打ち	②-2
15	(年未詳)	—	10月17日	〔書状〕(なたや平兵衛御用筋済んだ後立寄り願ひにつき)	太田佐兵衛	林田源右衛門	一紙	1	厚紙に裏打ち	①-26
16	(年未詳)	—	10月18日	〔書状〕(当年は2度の台風にて宿元難儀と察する、節季勘定依頼、毎度宿元書状お世話のお礼につき)	山田善左衛門	林(田)源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	①-30
17	(年未詳)	—	11月2日	〔書状〕(母公様より平治様ご内証を以てご伝筆、また朱値段のお知らせお礼。当暮も切米引受を依頼につき)	森本平悟(花押)	—	一紙	1	紙に裏打ち	①-56
18	(年未詳)	—	11月2日	〔書状〕(書状を宿元便で届けてくれるように依頼などにつき)	山田善左衛門	林(田)源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	②-30
19	(年未詳)	—	11月12日	〔書状〕(内膳正知行所木器村と九鬼領香下村山論論所は香下寺山内である、当冬米下値で不勝手につき)	田村治右衛門(花押)	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	②'-13
20	(年未詳)	—	11月17日	〔書状〕(出羽守様へ京都火消御役仰せ付けによりお伴で在京を労うにつき)	塩川又兵衛(花押)	斎藤助之丞	一紙	1	紙に裏打ち、途中切れ目有り	①-5
21	(年未詳)	—	11月17日	〔書状〕(御書面の趣伊豆守承知、御銀申付につき)	大高義右衛門(花押)、浜甚左衛門(花押)	斎藤助之進	一紙	1	紙に裏打ち	②-1
22	(年未詳)	—	11月22日	〔書状〕(当月奉幣使御通行により川面村へ帰る、神尾若狭守貴地通行に御両人大鹿まで出勤ご苦勞、殿様駿府交替済むとのことなどにつき)	小林政右衛門	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	②'-12
23	(年未詳)	—	12月15日	〔書状〕(宿元無事をお知らせ下され安心、仁科氏へ依頼の金も含め当暮為替取り組みのお世話の礼につき)	能勢平太左衛門(花押)	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	②'-16

24	(年未詳)	—	極月21日	〔書状〕(小豆へ着船のこと、中村漫仙父子の評判、当末までの残銀藤三郎断りの由などにつき)	福井佐左衛門(花押)	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	①-57
25	(年未詳)	—	12月26日	覚(御用金関係証文受取につき)	四郎右衛門	—	一紙	1	厚紙に裏打ち	②-14
26	(年月日未詳)	—	—	〔書状〕(民部様の沙汰、備中の仰付につき)	はは	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	①-80
27	(年月日未詳)	—	—	〔書状〕(江府状1通を届けてくれるよう依頼につき)	永田宗頼	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	②'-2
28	宝暦14	1764	正月	日記	岩田嘉平清勝	—	縦帳	1	厚紙の表紙・裏表紙が付いている、虫損甚大のため原本閲覧不可	④-1
29	明和8	1771	正月	日記	岩田嘉平	—	縦帳	1	厚紙の表紙・裏表紙が付いている、虫損甚大のため原本閲覧不可	④-2
30	天明7	1787	正月	日記	祝喜多右衛門	—	縦帳	1	厚紙の表紙・裏表紙が付いている、虫損甚大のため原本閲覧不可	④-3
31	明治6	1873	4月	諸事控日記	戸長祝茂作	—	縦帳	1	虫損あり	④-4

B 土地

番号	年代	西暦	月日	表題	差出人・作成者	宛先	形態	点数	備考	整理番号
1	安政4	1857	2月	反畝水帳覚	年寄幸右衛門、組頭利兵衛	—	縦帳	1		⑤-1
2	(年未詳)	—	11月6日	川筋田地御改畝高	治右衛門	林(田)源右衛門	一紙	1	厚紙に裏打ち	②-9
3	(年月日未詳)	—	—	改正反別調帳三(麻田村)	—	—	縦帳	1	虫損甚大のため原本閲覧不可	⑤-2

C 年貢

番号	年代	西暦	月日	表題	差出人・作成者	宛先	形態	点数	備考	整理番号
1	(年未詳)		3月17日	〔書状〕(多田郷救米返済を秋まで延引願い、御残米津出しも来月二十日頃を希望などにつき)	森本五郎太夫(花押)、森本仙右衛門(花押)	林田源右衛門	一紙	1	厚紙に裏打ち、前と後で2つに分割されて裏打ち	②'-11
2	(年未詳)		4月23日	〔書状〕(池田出米手形今日別紙の通り差上、この節爰元池川普請所申し付けにつき)	森本仙右衛門(花押)	林田源右衛門	一紙	1	厚紙に裏打ち	①-35
3	(年未詳)		5月6日	〔書状〕(御米出切の手形を差し上げにつき引合願い、金五郎・半兵衛へのお米書を村々へ下げ渡しの時節か、殿様お登り日限のご報知お礼)	森本五郎太夫(花押)、森本仙右衛門(花押)	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち、途中切れ目あり	①-36
4	(年未詳)		9月21日	〔書状〕(米の売買につき)	中沢文太夫	林田源右衛門	一紙	1	厚紙に裏打ち	①-3
5	(年未詳)		10月21日	〔書状〕(払米村割受取、大鹿村10石・北村10石は無用につき)	鹿嶋屋利兵衛	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	①-14
6	(年未詳)		10月24日	〔書状〕(払米についてうかがいにつき)	鹿嶋屋利兵衛	林田源右衛門、仁科治右衛門	一紙	1	紙に裏打ち、一部欠損あり	②'-3
7	(年未詳)		10月27日	〔書状〕(払米の義につき村割書付受取)	鹿嶋屋利兵衛	仁料治右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	①-13
8	(年未詳)		11月4日	〔書状〕(払米の津出し仰付けを依頼につき)	鹿嶋屋利兵衛	仁口口(科治)右衛門	一紙	1	紙(チラシ)に裏打ち、虫損あり	②'-4
9	(年未詳)		11月11日	〔書状〕(御城米6石受取、貫目改めたところ与左衛門殿よりのものが二百匁づつ軽かったことを報告につき)	かしまや利兵衛	仁兵衛	一紙	1	紙に裏打ち	①-33
10	(年未詳)		口月10日	〔書状〕(年貢皆済証文を差上げ、中嶋丈右衛門様よりの紙代の書付につき)	大坂屋善介	■兵衛	一紙	1	紙に裏打ち	①-63
11	(年月日未詳)		—	口上(今朝対談の趣後刻お屋敷に仰上、落札米の義今明日明き踏臼できる予定、市米は品悪く高いが買入のご相談につき)	—	—	一紙	1	紙に裏打ち、後欠	①-58
12	元文3	1738	12月16日	佐屋村より請取米之事(米・大豆・縄受取につき算用依頼)	佐口	林田源右衛門	一紙	1	厚紙に裏打ち、途中切れ有、下部欠	②-23
13	元文3	1738	12月20日	稲村より請取米之事	伏越屋九右衛門(印)	—	一紙	1	紙に裏打ち	②'-6
14	元文4	1739	12月5日	覚(入札米代受取出入なく済むにつき)	小嶋徳右衛門(印)、仁科五郎市(印)	北村庄や新左衛門、利右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	②'-7
15	宝暦3	1753	極月日	覚(東畑村以下4ヶ村納米収納額)	佛日監院光普(印)	林田源右衛門、甲賀宗平太	一紙	1	紙に裏打ち	①-83

16	宝暦4	1754	11月	覚(御蔵米5石頂戴につき)	箕輪村太助	林田源右衛門	一紙	1	厚紙に裏打ち、一部欠損あり	①-16
17	宝暦4	1754	11月	覚(蔵米3石4斗余容赦として頂戴につき)	箕輪村太助、同村次右衛門	—	一紙	1	紙に裏打ち	②'-10
18	庚午		11月13日	覚(北村米代入札・買次米代受取につき)	小嶋徳右衛門(印)	北村庄や新左衛門	一紙	1	厚紙に裏打ち	②-10
19	丑		極月	覚(油屋久兵衛分払米代の上納分・村方分書上)	畑村[]	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	②'-5
20	午		8月29日	御用大豆御米送手形覚	備中国浅口郡浜中村同御知行所大庄屋平井三郎右衛門(印)	口源五郎様御屋鋪摂州麻田村二而福井佐左衛門、林田源右衛門、小久保清七郎	一紙	1	紙に裏打ち	①-19
21	午		11月9日	覚(東市場米買次米受取につき)	小嶋徳右衛門(印)	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	②'-20
22	戌		10月	覚(御納米10石受取、代銀渡すにつき)	ノセや与右衛門(印)	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	①-17
23	戌		11月	覚(寺領米受取につき)	妙宣寺(印)	林田源右衛門	一紙	1	厚紙に裏打ち	②-34
24	戌		12月11日	覚(納米6石7斗6升を西畑村より受取につき)	佛日副寺(印)	林田源右衛門	一紙	1	厚紙に裏打ち	①-85
25	(年未詳)		10月	覚(大鹿屋市郎兵衛以下3名分170石を払米依頼)	かしま屋利兵衛	林田源右衛門・仁料治右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	①-15
26	(年未詳)		12月6日	次米覚(御奉公人戌切米・戌取替米高)	西川小兵衛	勘定所	一紙	1	紙に裏打ち	①-4
27	(年月日未詳)		—	覚(下渋谷村御納り米受取につき)	酒浜久右衛門(印)	—	一紙	1	厚紙に裏打ち、後欠	①-21

D 村

番号	年代	西暦	月日	表題	差出人・作成者	宛先	形態	点数	備考	整理番号
1	(年未詳)	—	6月18日	〔書状〕(先年召し使った者と同じ多田川原村の清七がお頼み筋あり参上につき)	青木帯刀	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	①-25
2	(年未詳)	—	11月3日	〔書状〕(波豆村多七の役願は明春まで待てとの家老中よりの仰せ、多七は今春より札年番で来春からではないので確認願いにつき)	森本佐源太(花押)、森本仙右衛門(花押)、森本初左衛門(花押)	福井佐左衛門、林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	①-24
3	(年未詳)	—	11月20日	〔書状〕(村方お願いの義につき尽力及び寒中見舞として木綿2反差上)	庄屋嘉十郎・鳥越又左衛門	林源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	①-20

E 戸口

番号	年代	西暦	月日	表題	差出人・作成者	宛先	形態	点数	備考	整理番号
1	(年未詳)	—	11月3日	覚(御奉公人切米取替算用につき)	末吉久兵衛	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	②-11
2	(年月日未詳)	—	—	〔覚〕(備中・川面村御奉公人銀算用につき)	—	—	一紙	1	紙に裏打ち	②-12

F 土木、G 救恤、H 交通

該当なし

I 水利

番号	年代	西暦	月日	表題	差出人・作成者	宛先	形態	点数	備考	整理番号
1	(年月日未詳)	—	—	覚(当春・夏川表普請入用の北村・辻村勘定)	—	—	一紙	1	紙に裏打ち、後欠	①-31

J 農業、K 商工業、

該当なし

L 金融

番号	年代	西暦	月日	表題	差出人・作成者	宛先	形態	点数	備考	整理番号
1	宝暦元年	1751	11月28日	請取申山米銀之事(22匁9分6厘を受取につき)	南刀根山村庄屋十右衛門	麻田村庄屋忠左衛門、七郎左衛門	一紙	2	厚紙に裏打ち、小さい方は前欠	①-42
2	子	—	6月	覚(金子差し下しにつき水野和助・笠原八郎殿へお届け願い)	林田源右衛門(印)	—	一紙	1	紙に裏打ち	②-3
3	子	—	12月27日	覚(豊島屋庄兵衛・交野屋藤兵衛分銀子封印のまま受取につき)	岩田忠左衛門(印)	林田源右衛門	一紙	1	厚紙に裏打ち、虫損あり	①-43
4	丑	—	12月8日	〔覚〕(御納米代・利銀・奉公人銀取次分など勘定につき)	小林政右衛門	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	①-11
5	丑	—	12月22日	覚(油屋久兵衛へ払米の代銀につき)	畑村文右衛門	—	一紙	1	厚紙に裏打ち、後欠	②-4
6	寅	—	極月	預申銀子之事(銀子60目を受取につき)	仁科平右衛門(印)	福井佐左衛門、小林政右衛門、林田源右衛門	一紙	1	厚紙に裏打ち	①-44
7	辰	—	12月26日	覚(備中奉公人に渡すべき銀子受取につき)	林田源右衛門	勘定所	一紙	1	厚紙に裏打ち、4・5の裏面に6が裏打ちされている	②-6
8	午	—	12月4日	覚(大鹿屋善右衛門手形を以て銀子取られ配分につき)	林田源右衛門	古城武左衛門、中尾五右衛門、荒木彦兵衛	一紙	1	厚紙に裏打ち	②'-15
9	酉	—	3月	覚(金18両2分を渡しにつき)	林田源右衛門	明石平兵衛、中尾五左衛門、片山和右衛門	一紙	1	厚紙に裏打ち	①-45
10	酉	—	6月29日	覚(福井三右衛門以下4名に銀子お渡し願いに付き)	林田源右衛門	古城武左衛門、中尾五左衛門、久留見藤兵衛	一紙	1	厚紙に裏打ち	②-15
11	酉	—	11月27日	覚(買改米代銀受取につき)	勘定所代渡部作右衛門(印)	—	一紙	1	厚紙に裏打ち	②-7
12	酉	—	11月	覚(小嶋氏分・石橋連判分等申11月限りの貸銀元利書上につき)	根治や平兵衛	林田源右衛門	一紙	1	厚紙に裏打ち	②-16
13	戌	—	3月18日	覚(京屋金手形両替銀の配分を依頼)	林田源右衛門	古城武左衛門、中尾五左衛門	一紙	1	紙に裏打ち	①-34
14	戌	—	10月27日	覚(米代銀1貫332匁受取につき)	佛日副寺松吉	林田源右衛門、小久保清七郎	一紙	1	厚紙に裏打ち	①-84
15	甲子	—	12月22日	覚(平井三郎右衛門以下備中領村人出銀受取られたく)	小林政右衛門	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	①-18
16	(年未詳)	—	□月8日	覚(買請の内安値段御札銀村々算用を廻す、過不足銀は来10日に差出希望につき)	宮原市郎兵衛、倉敷より	—	一紙	1	紙に裏打ち、一部欠損あり	②'-21
17	(年月日未詳)	—	—	覚(多田奉公人に渡すべき銀子受取につき)	—	—	断簡	1	4・5を並べて一枚の厚紙に裏打ちしてある後半・下部が切れている	②-5
18	(年未詳)	—	3月15日	〔書状〕(銀300目に利子を添えてお世話願いに付き)	太田佐兵衛	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	①-46
19	(年未詳)	—	3月17日	〔書状〕(政之丞お取替に預かり札、銀子は当月中に調え願いに付き)	祝京右衛門	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	①-47
20	(年未詳)	—	7月3日	〔書状〕(当月江戸納銀子は難儀につき)	油屋久兵衛	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	①-8
21	(年未詳)	—	7月6日	〔書状〕(笠原氏の銀子借用依頼お断りになり私共兩人にご内談の旨承知、笠原氏への私共からの借銀は信太源兵衛殿加印で返済延引につき)	森本仙右衛門(花押)	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	①-9
22	(年未詳)	—	7月10日	〔書状〕(江戸より為替証文中米相場が到来につき)	佐太夫	源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	①-62
23	(年未詳)	—	7月11日	(銀札引き換え依頼)	太田佐兵衛	林田源右衛門	一紙	1	厚紙に裏打ち	①-32
24	(年未詳)	—	8月11日	〔書状〕(入用不足銭受取につき)	小林政右衛門	林田源右衛門	一紙	1	厚紙に裏打ち	②-8
25	(年未詳)	—	9月10日	〔書状〕(病気が早く回復するようお祈り、おこん殿よりお申し越しの銀子は一両日中に借用につき)	林田源右衛門	母人	一紙	1	厚紙に裏打ち	①-48
26	(年未詳)	—	9月20日	〔書状〕(銀子借用願いに付き)	徳右衛門	源右衛門	一紙	1	厚紙に裏打ち	①-49

27	(年未詳)	—	10月29日	〔書状〕(米代銀ご都合され遣わし願ひにつき)	太田佐兵衛	仁科治左衛門	一紙	1	厚紙に裏打ち	①-55
28	(年未詳)	—	11月19日	〔書状〕(御母公様御屋敷お構の由気の毒、大鹿金為替受取、江原・田村両氏引金無心などにつき)	松井助右衛門(花押)	—	一紙	1	紙に裏打ち、後欠	①-38
29	(年未詳)	—	11月23日	〔書状〕(大庄屋又左衛門へ用向き差支えにつき銀子調達)	森本仙右衛門(花押)	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち、上部の文字にかすれあり	①-10
30	(年未詳)	—	12月1日	〔書状〕(仰せ付けの為替証文を工面願ひにつき)	北河原助三郎	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	①-39
31	(年未詳)	—	12月4日	〔書状〕(明後日無尽会合の案内につき)	能勢要人	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	②'-14
32	(年未詳)	—	12月9日	〔書状〕(御調物は別紙の通りのため立用銀と差引願ひ、平脇宿本入用銀ご工面下さったお礼につき)	森本仙右衛門(花押)	林田源右衛門	一紙	1	厚紙に裏打ち	①-50
33	(年未詳)	—	12月10日	〔書状〕(証文表の内銀6貫余受取、残りは工面次第お渡し願ひにつき)	鹿嶋屋利兵衛	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	①-40
34	(年未詳)	—	12月18日	〔書状〕(忙しく勤め中、おこん殿より借用された銀は四五日中に調え遣わすにつき)	(林田源右衛門)	(母人)	一紙	1	紙に裏打ち	①-52
35	(年未詳)	—	極月20日	〔書状〕(浜中村・関戸村より借上銀取立て登り、中谷殿取立銀も同時に財布を遣わすにつき)	—	(林田)源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち、欠損あり	①-12
36	(年未詳)	—	極月21日	〔書状〕(内々仰せ付けの御用銀8貫の内7貫を登せ残りは正月中持参につき)	福井元右衛門(花押)	斎藤六郎右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	①-22
37	(年未詳)	—	12月24日	〔書状〕(銀子調達は覚束ない、佐兵衛殿義は気の毒につき)	鹿嶋屋利兵衛	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	①-51
38	(年未詳)	—	12月25日	〔書状〕(小嶋より銀子受取につき手紙返却)	太田佐太夫	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	②-13
39	(年未詳)	—	12月26日	〔書状〕(太田様銀子気の毒ながら調達できず明日改めて返事、今年は銀かすりて困るにつき)	鹿嶋屋利兵衛	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	①-53
40	(年月未詳)	—	18日	〔書状〕(当春お願いした銀子は当暮残らず下され切米は徳右衛門へ引取、来年からも今年同様暮の切米は頼母子掛銀春取替につき)	平啓	源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	①-41
41	(年月日未詳)	—	—	〔書状〕(民部様金談等につき)	—	—	一紙	1	紙に裏打ち、後欠	②'-39

M 家事

番号	年代	西暦	月日	表題	差出人・作成者	宛先	形態	点数	備考	整理番号
1	庚	—	7月24日	覚(代金受取につき)	本屋安兵衛(印)	斎藤六郎右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	②'-18
2	寅	—	12月5日	覚(餅米4斗受取につき)	小嶋徳右衛門(印)	井口堂庄屋八左衛門	一紙	1	紙に裏打ち	①-81
3	卯	—	7月	覚(かご代請求につき)	丹波屋清兵衛	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	②-20
4	明治3	1870	5月	(御用紙代銀受取につき)	名塩堀屋三場五郎兵衛(印)	麻田役所	一紙	1	紙に裏打ち、前欠	②'-17
5	(年未詳)	—	正月26日	親類書之事	西尾弥市右衛門	斎藤庄左衛門	一紙	1	紙に裏打ち	①-64
6	(年未詳)	—	正月2日	〔書状〕(年賀状)	宮林有斎(花押)	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	②-25
7	(年未詳)	—	正月3日	〔書状〕(年頭の祝辞につき)	大鹿屋半兵衛(花押)	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	①-66
8	(年未詳)	—	正月5日	〔書状〕(年賀状、白銀1枚拝領のお礼につき)	鍵屋与市	太佐兵衛	一紙	1	紙に裏打ち	②-26
9	(年未詳)	—	2月5日	〔書状〕(お世話により同名文蔵召し出しにつきお礼の品差上)	—	—	一紙	1	厚紙に裏打ち、後欠	②-27
10	(年未詳)	—	2月12日	〔書状〕(乳味湯を遣わされたお礼につき)	森本仙右衛門(花押)	林田源右衛門	一紙	1	厚紙に裏打ち	①-1
11	(年未詳)	—	2月27日	〔書状〕(髪目代の依頼につき)	斎藤助之進	沖ヶ谷中	一紙	1	紙に裏打ち	①-65
12	(年未詳)	—	3月4日	〔書状〕(去秋お世話になった酒代送付につき)	笠原(花押)	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	②'-22
13	(年未詳)	—	4月29日	〔書状〕(残暑見舞、さんしょう進呈につき)	柘植宗右衛門	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	②'-24
14	(年未詳)	—	6月5日	〔書状〕(ご機嫌うかがいにつき)	ひさ	林源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	①-67
15	(年未詳)	—	6月11日	〔書状〕(暑中見舞につき)	阿澄四郎右衛門(花押)	斎藤助之進	一紙	1	厚紙に裏打ち	②-28
16	(年未詳)	—	水無月11日	〔書状〕(暑中見舞につき)	—	—	一紙	1	紙に裏打ち	②'-25

17	(年未詳)	—	6月20日	〔書状〕(お見舞いの品につき)	太田佐兵衛	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	①-68
18	(年未詳)	—	7月3日	〔書状〕(早く出発願いに付き)	甲賀又市	斎藤助之進	一紙	1	紙に裏打ち	①-69
19	(年未詳)	—	7月18日	〔書状〕(金預かりのこと、書状を興法寺にお届け願いに付き)	鶴田久太夫(花押)	—	一紙	1	厚紙に裏打ち、後欠	②-18
20	(年未詳)	—	7月29日	〔書状〕(土用の祝いの品、大炊様方へ参るにつき)	森本仙右衛門(花押)	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち、前欠	②'-26
21	(年未詳)	—	8月15日	〔書状〕(居士百回忌の法事料として扇子・精米を持遣わしにつき)	梅林房	斎藤大作	一紙	1	紙に裏打ち	①-82
22	(年未詳)	—	8月19日	〔書状〕(私願いのとりなしのお礼につき)	藤井伊右衛門(花押)	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち、前欠	②'-27
23	(年未詳)	—	8月24日	〔書状〕(家売却のお世話頂いたこと道麟に申し聞かせ、その詳細についておうかがいにつき)	菊池莊全	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち、前欠	②-22
24	(年未詳)	—	9月6日	覚(紙・たばこ・小豆の依頼)	田中金右衛門	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	②'-19
25	(年未詳)	—	9月8日	〔書状〕(病状うかがい、内談の件は間に合わせて済ませたので安心願いに付き)	信太源兵衛	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	②-29
26	(年未詳)	—	9月11日	〔書状〕(寒気見舞につき)	山本主馬(花押)	斎藤助之進	一紙	1	紙に裏打ち	②'-28
27	(年未詳)	—	9月22日	〔書状〕(子供衆ごきげんよくしていることなどにつき)	はは	林田源右衛門	一紙	1	紙(チラシ)に裏打ち、前欠	②'-29
28	(年未詳)	—	10月14日	〔書状〕(道中無事到着につき)	中村伊兵衛(花押)	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	②'-30
29	(年未詳)	—	10月19日	〔書状〕(持病の快癒願い、証文は持ち帰りに付き)	懷山	林源右	一紙	1	紙に裏打ち	①-73
30	(年未詳)	—	10月21日	〔書状〕(書状1通受取、利兵衛他行中につき帰り次第お渡しにつき)	—	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	②-21
31	(年未詳)	—	11月26日	〔書状〕(河原文助死去のことにつき)	星野門太夫(花押)	斎藤助之進	一紙	1	紙に裏打ち	②-31
32	(年未詳)	—	12月3日	〔書状〕(加入の申し込みに付き)	北村久川	子石	一紙	1	厚紙に裏打ち	②'-33
33	(年未詳)	—	極月4日	〔書状〕(寒気見舞につき)	三谷数馬(花押)	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	②'-31
34	(年未詳)	—	12月4日	〔書状〕(たんきりつぼ焼いたので送付、金1歩いただきたし)	乾春悦	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	②'-32
35	(年未詳)	—	12月10日	〔書状〕(ご機嫌うかがいにつき)	大部屋中間	林源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	①-72
36	(年未詳)	—	12月15日	〔書状〕(年越しの挨拶につき)	はは	源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち、前欠	②'-34
37	(年未詳)	—	12月21日	〔書状〕(歳暮の祝儀を進上につき)	藤井伊右衛門(花押)	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	①-74
38	(年未詳)	—	12月22日	〔書状〕(鴨をいただいたことへのお礼につき)	太田佐太夫	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	①-75
39	(年未詳)	—	極月25日	〔書状〕(御前にてのしめ拝領のお祝、炭代等の差引につき)	森本五郎太夫(花押)	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち、途中切れ有	②-19
40	(年未詳)	—	12月27日	〔書状〕(珍しい品をいただいたお礼、お菓子が泉州より到来につき)	中村道格	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	①-77
41	(年未詳)	—	12月29日	〔書状〕(肴代1包を進上につき)	右平太	源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	①-76
42	(年月日未詳)	—	—	〔書状〕(先刻お願いした米・満つき麦重ねて依頼につき)	道麟	源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち、後欠	①-54
43	(年月日未詳)	—	—	〔書状〕(半紙1束を進上につき)	鹿嶋屋利兵衛	林田源右衛門	一紙	1	紙(チラシ)に裏打ち	①-78
44	(年月日未詳)	—	—	口上(この2品を進上につき)	はは	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	①-79
45	(年月日未詳)	—	—	〔書状〕(鮎・茶代等勘定、左太郎まで銀子遣し願いに付き)	—	—	一紙	1	紙に裏打ち	②-24
46	(年月日未詳)	—	—	〔書状〕(下山市郎右衛門へお渡願いに付き)	徳右衛門	源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	②'-9
47	(年月日未詳)	—	—	〔書状〕(すいた屋治右衛門が源右衛門殿お見舞いの際一報願いに付き)	はは	■■■	一紙	1	紙に裏打ち	②'-36
48	(年月日未詳)	—	—	〔書状〕(太七へのしたくを分けられたしにつき)	はは	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち、前欠	②'-37
49	(年月日未詳)	—	—	〔書状〕(酒宴の誘いにつき)	■■■	おりへ	一紙	1	紙に裏打ち	②'-38
50	(年月日未詳)	—	—	〔書状〕(ご機嫌うかがいにつき)	ひさ	しん中	一紙	1	紙に裏打ち	②'-40
51	(年月日未詳)	—	—	〔書状〕(吹田屋おまつ殿回復につき同人遣わし母様お帰りとの伝言など)	—	—	一紙	1	紙に裏打ち、後欠	②'-41

52	(年月日未詳)	—	—	〔書状〕(21日頃に堺へ人を遣わしにつき)	はは	林た[]	一紙	1	紙に裏打ち、後欠	②'-42
53	(年月日未詳)	—	—	〔書状〕(お世話の礼、手作りの麦粉進呈につき)	—	—	一紙	1	一度紙に裏打ちしそれをさらに裏打ち、後欠	②'-43
54	(年月日未詳)	—	—	〔書状〕(書付の裏書出来たので受取願いに付き)	文太夫	源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	②'-44
55	(年月日未詳)	—	—	〔書状〕(気遣いを申上げにつき)	—	—	一紙	1	紙に裏打ち、前欠、後欠	②'-46
56	庚	—	7月24日	覚(代金受取につき)	本屋安兵衛(印)	斎藤六郎右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	②'-18
57	寅	—	12月5日	覚(餅米4斗受取につき)	小嶋徳右衛門(印)	井口堂庄屋八左衛門	一紙	1	紙に裏打ち	①-81
58	卯	—	7月	覚(かご代請求につき)	丹波屋清兵衛	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	②-20
59	(年月日未詳)	—	—	覚(紙・筆・墨等数量書上)	—	—	一紙	1	紙に裏打ち、後欠	①-23
60	明治3	1870	5月	(御用紙代銀受取につき)	名塩堀屋三場五郎兵衛(印)	麻田役所	一紙	1	紙に裏打ち、前欠	②'-17
61	(年月日未詳)	—	—	〔書付〕(証文末尾部分)	同断利右衛門(印)、同断勘六(印)、同断清右衛門(印) ほか4名	林田源右衛門	一紙	1	厚紙に裏打ち、前欠	②'-8
62	(年月日未詳)	—	—	〔包紙断簡〕	—	—	包紙	11	紙に裏打ち、断簡を3枚の厚紙に分けて裏打ちしている、赤で書き込み有り	②'-1

N 宗教

番号	年代	西暦	月日	表題	差出人・作成者	宛先	形態	点数	備考	整理番号
1	宝暦9	1759	4月	覚(当年宗旨御改めに役僧勤めねにつき)	仏日寺(印)	□□□	一紙	1	紙に裏打ち、後欠	②'-47
2	(年未詳)		1月17日	〔書状〕(円満寺祈料を札1枚で送るにつき)	—	—	一紙	1	紙に裏打ち	②'-23
3	弘化4	1847	3月	宗門御改帳(麻田村)	箕輪村如来寺(印)、津村大仙寺(印)、利倉村永照寺(印) ほか5寺	中村左内、阿澄保	竖帳	1	虫損甚大のため原本閲覧不可	③-1

O 文化

番号	年代	西暦	月日	表題	差出人・作成者	宛先	形態	点数	備考	整理番号
1	(年未詳)		3月19日	〔書状〕(明日中山寺へ参詣の予定につき同行確認)	助之進	金蔵	一紙	1	紙に裏打ち	②-32
2	(年未詳)		4月25日	〔書状〕(儒学書物代銀のお取替を依頼につき)	森本佐源太(花押)	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	②-17
3	(年未詳)		6月10日	〔書状〕(矢野氏へ入門して学問を修めるため周旋と書物代等送金を依頼につき)	林田平(花押)	(林田)源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	①-2
4	(年未詳)		4月8日	口上(六要差方等借用の礼につき)	小嶋徳右衛門	林田源右衛門	一紙	1	紙に裏打ち	②-33